

菊地 時子

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

学校の臨時休業の見直しと学童保育の支援

【質】新型コロナウイルスによる学校の臨時休業の要請に戸惑いが広がっている。感染予防や、正確な情報の提供に努め、臨時休業は見直しし、状況に合った対応と、学童保育への支援強化をすべきでは。

【答】臨時休業については、今後の状況の変化や国や県の動静を踏まえ、解除や春休み中の登校についても検討していく。放課後児童クラブについては、今後、利用を希望する児童がふえ、状況が変化した場合には、教育委員会と連携して、教職員による放課後児童支援員の増員や学校の教室を活用した場所の確保を検討していく。

地元経済への支援対策

【質】新型コロナウイルス感染の事態が長期化することで、地元経済に対する影響も懸念される。地元企業の経営に関する相談窓口を設置し、制度融資や返済猶予などの対応と、各種対策を実施する予算措置を迅速にすべきでは。

【答】国や県では各種相談窓口の開設や支援制度の新設・拡充を進めており、これらの周知に努めるとともに、県の中小企業融資制度と連動した利子補給等の支援策を検討したい。市の予算措置については、後日、現時点で必要な経費を追加提案するほか、今後状況の推移を注視しながら、適宜、対応していく。

その他の質問事項

- （仮称）秋田県北部洋上風力発電事業
- 地球規模の気候変動を抑制すること

原田 悦子

平政・公明党

臨時休業等による暮らしへの影響

【質】学校の全国一斉臨時休業やイベントの中止、延期等で人が動かない、物が動かない、金が動かない。幅広い暮らしへの影響について考え方を伺う。

【答】地域経済等に対する影響は避けられない状況となっている。このため、県では中小企業融資制度に新型コロナウイルス感染症対策枠を新設したほか、信用保証協会や金融機関、商工団体等では資金繰りや融資等に関する相談窓口を開設している。市としては、こうした各種支援対策の周知に努めるとともに、県と連動した支援策について検討していきたい。

防災行政無線への対応

【質】聞きにくい、聞きづらい、聞こえないため、防災行政無線の放送内容が分からないとの市民の声がある。どのような対応をしているのかを伺う。

【答】聞き取れないなどの苦情や改善要望があった地域については、スピーカーの角度調整や音量調整等を行っている。それでも改善されない際には、出力の大きいスピーカーへの交換などの対応をしている。また、防災行政無線のほか、防災行政無線テレホンサービス、防災情報メール等、複数の情報伝達手段により、確実な情報提供に努めている。

その他の質問事項

- 北高跡地に検討中の複合施設に高齢者交流の場を
- 水道施設の保守点検・維持管理は

菅原 隆文

希望

風力発電事業の現状と地元企業の参画

【質】陸上風力・洋上風力ともに、市に関係する大型の風力発電計画が進んでいる。県と国による能代港の大規模改修工事も始まる。地元企業の事業参画について、もっと市の働きかけが必要ではないか。

【答】県では、地元企業の関連産業への参入意欲向上や、風力発電事業者とのマッチング機会を創出する各種取り組みを実施している。市としても県と連携しながら風力発電事業者等と情報交換を行い、地元企業参入の可能性を探るとともに、地元企業が事業に参画し最大限に恩恵を享受できるよう各種取り組みを進めていく。

洋上風力事業者に企業版ふるさと納税を

【質】日本初の商業ベースの洋上風力発電事業が能代港湾で始まる。4月から税制控除額が拡充され、市と事業者ともにメリットのある企業版ふるさと納税に、地元への貢献事業として取り組めないか。

【答】企業版ふるさと納税は、企業には寄附金の約4割が実質的な負担となること、自治体には認定までの手続のハードルが高いこと等から、活用は一部にとどまっている。このため、国では、企業側の実質負担の軽減や、手続の簡素化等を図ることとしている。市としては、今後の動向を注視しながら、制度の活用について検討を深めたいと考えている。

その他の質問事項

- 能代港の中国向け原木輸出の現状と課題
- 特別支援教育の市の新しい取り組みは
- 大館能代空港の東京3便体制と活性化策